2022年度岡山県社会福祉士会事業報告

2022年度全体総括

　岡山県社会福祉士会（以下、県士会）は、２０２１年２月に初めて岡山県の公益法人監査を受けました。それを受けて２０２２年度、定款や諸規定の見直しに取り組みました。
３月総会で定款の一部改正をしましたが、諸規定についても理事会で改正を図っている所です。これらを通して会の事業運営が結果として改善されることに繋がるものと考えています。
県士会は、事業展開の基本を各委員会に置いていますので、委員会報告に詳細は委ねますが、PDCA（企画、実行、評価、改善）サイクルに則った活動改善が徐々に進捗をしていると実感しています。

１　ももちゃんプラン2025について
　プランの策定・実行は２年目を迎えました。プランの実施で各委員会に横櫛を刺し、持てる力でソーシャルアクションを起こし、会員相互に信頼と成長の実感を育む県士会を目指していますが、総合的な計画にふさわしい体制の構築には至っていません。県士会の事業全体のなかでの位置づけとプラン実行体制整備を再度行う必要があります。

２　権利擁護活動について
　県民の権利擁護事業では、障害者権利擁護センターの各種事業の発展、少年非行認定研修の開催、司法福祉“岡山モデル”での弁護士会との連携、高齢者・障害者虐待への対応事業、福祉サービス第三者評価の実施など、新型コロナ感染の影響もあった中ですが、県民の期待に応えた事業となりました。
今年度は、後見事業の長年の念願でもあった法人後見の入念な準備作業・協議があり、２０２３年度４月からの実施となりました。

３　組織強化について
　２０２２年度から開始された３０歳以下の新規加入を対象とした入会金・会費を入会年度に限り無料とする制度は、７人（加入総数３４人）に適用されました。３年間試行ですので宣伝、お誘いよろしくお願いします。
地区会の組織化は、東備地区で組織化の準備が進んでいます。福祉人材センターへの継続的な委員の派遣、ソーシャルワーカーデーの継続、県士会の取組として“ももちゃんバッジ”作成や宣伝用写真パネルも斬新な６種類が追加作成されました。小中高校向けパンフも教育委員会への案内、申し入れ活動も徐々に進んでいます。
組織強化、人材育成活動の土台を築く研修も生涯研修センターを中心にWebも駆使しながら年間を通して各種開催されました。

４　広報活動について
　県士会は、毎月定期発行の紙媒体の広報紙を持っている全国でも珍しい組織です。紙面も会員を主人公に基本にしています。しかし、編集体制は脆弱です。毎月、発行の危機にあると言っても過言ではないのです。多くの会員に発行を担う側に参画いただきたいと思います。

　毎月、毎日の会員、役員の地道な奮闘が、過去も現在も支えです。４桁の会員をめざし、ももちゃんプラン2025の成功を願って、共に歩んでいきましょう。